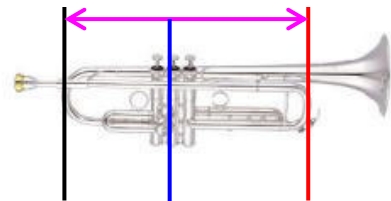
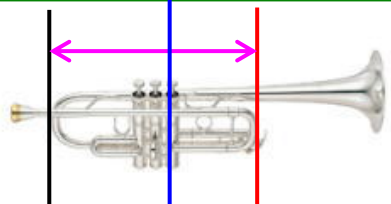


管長が短くなる



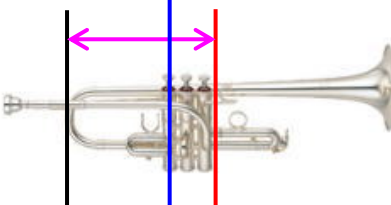
B♭トランペット (B♭管)

トランペットの標準型で、クラシックからジャズまで全てのジャンルで幅広く使われています。
まずはこの楽器で何でも吹けるようになりましょう。



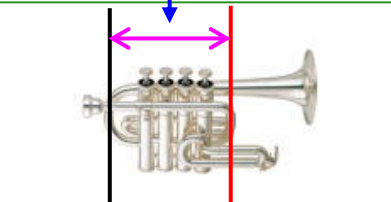
Cトランペット (C管)

「ツェーカン」と呼びます。クラシックで多くの人が使っています。
見た目にバランスが良く、一番かっこいい。



E♭/Dトランペット (E♭/D管)

ベルやスライドを長さの違うものに取り替えることにより、E♭管（エスカン）とD管（デーカン）に切り替えられる。
ハイドンやフンメルのアダルトン奏曲を吹く際、E♭管がよく使われます。



ピッコロトランペット (B♭/A管)

標準のトランペットの管の長さを半分にし、1オクターブ高い音域のトランペット。
特にバロック音楽などで活躍します。



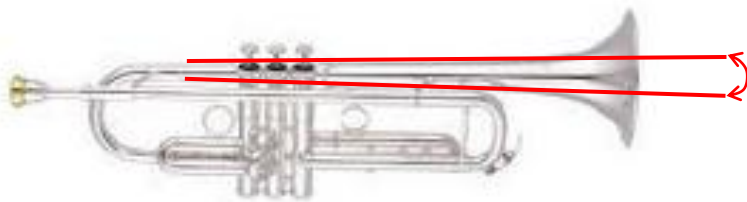
ロータリートランペット

ピストンの代わりにロータリーが付いている。
一般にクラシック用とされ、オーケストラではよく使われている。調子はB♭とC管が一般的。

ピアノより1音低いので、合わせるときは1音上げる必要があります。

ドイツ、オーストリアの作曲家の曲を演奏する場合やその国の交響楽団の奏者がよく使用する

B♭ トランペット



拡がり角度が大きくなっていく

華やかな音色

B♭ コルネット



柔らかい音色

英国式のブラスバンドでよく用いられる

B♭ フリューゲルホルン



甘く柔らかい音色

ジャズやポップスでよく使われる